

福岡市カヌー協会

【設立年月日】

2005（平17）年4月1日

【加盟年月日】

2005（平17）年5月26日

【歴代会長】

2005（平17）年4月1日 相良直文

【歴代理事長】

2005（平17）年4月1日 古川 悟

【沿革】

福岡市カヌー協会は、平成17年（2005年）4月に設立いたしました。福岡県カヌー協会の福岡支部として、昭和55年（1980年）より活動し、平成2年の「とびうめ国体」等の各種大会に協力参加して参りました。

福岡市内では福岡市南区五十川塩原大橋河畔にて「とびうめ国体」の練習会場としてカヌー競技をはじめました。その後、福岡市南区主催のカヌー教室・大会を開催してきました。夏休み期間を利用して校区単位で練習を行い、夏休み最後の日曜日に練習の成果を校区対抗リレーというかたちで地域に根づいたすばらしい夏のイベントとして、認知されるようになりました。カヌー教室・カヌー大会は地域コミュニティの成熟を図るとともに河川等の自然環境を守り、青少年の健全育成を図るうえで非常に意義深いものとなりました。

しかし毎年夏休み時期しかカヌー教室ができないということで、また塩原大橋河畔という場所が番詫取水場の施設をカヌー教室の期間のみ利用させていただいていた経緯もあり、年間を通じてカヌーを楽しむ施設が是非整備されることを目指して「那珂川をカヌーのメッカに!!」という活動を行って参りました。

そのおかげで平成20年（2008年）に待望のカヌー専用艇庫が福岡市南区老司の老司河畔公園内に

竣工しました。老司河畔公園は親水型階段・常設のトイレ・ベンチ・遊歩道等が整備されており、年間を通じて安全且つ快適にカヌーを楽しむことができるすばらしい環境にあります。

現在は、老司河畔公園を福岡市カヌー協会のメインの練習場として活動しております。

また、東区香椎浜において、平成17年（2005年）に福岡県カヌー選手権大会・九州ブロック大会・九州大会を開催いたしました。九州各地トップアスリート達によるすばらしい大会となりました。また東区香椎浜会場は特設会場ですがオリンピック福岡招致の際は非常に高い評価をいただきました。

平成17年（2005年）以降は毎年、東区カヌー教室・大会を行っております。小学生・中学生を中心に約300名が参加していただいております。

しかし、香椎浜会場は年間を通じてカヌーの練習・大会ができる環境ではありません。そのための環境整備に今後も活動していく予定です。



【現在の活動】

現在は、福岡市南区老司と福岡市東区香椎浜でカヌー競技の練習及びカヌー大会等の強化活動とカヌー体験教室等の普及活動を行っております。

福岡市南区老司河畔公園では年間約12回（5月～10月）小学生（4年生以上）・中学生・高校生・大学生・一般の方を対象にカヌー体験教室を行っております。リピーターの方もたくさん参加され、回数をかさねるごとに上達されております。年間のカヌー体験教室参加者は約300名です。

また年間を通じて沖学園中学・高等学校カヌー一部が練習を行っております。毎年九州大会・全国大会等ですばらしい戦績をあげています。

協会メンバーの練習及び福岡大学の練習も行なっています。

毎年9月には市民総合スポーツ大会のカヌー競技として福岡市カヌー選手権大会を老司河畔公園でおこなっております。この大会には体験教室に参加された方のエントリーもあり、非常に盛り上がる大会となっております。

福岡市東区香椎浜におきましては夏休み期間を利用して特設会場にて東区フェスティバル実行委員会主催のカヌー体験教室・大会を行っております。東区内の校区単位での参加で約300名の参加があります。

また香椎工業高校カヌー一部が練習をおこなっております。

強化事業として、福岡県カヌー選手権大会・九州カヌー選手権大会・国民体育大会カヌー競技等の国内大会および海外大会に向けて選手強化を行っております。

また、普及活動におきましては南区老司・東区香椎浜の他にいろいろなカヌー教室にインストラクター及び選手を派遣しております。

